

発行責任者
森 芳信

〒270-1164 我孫子市つくし野3-13-107
TEL 0471-84-8443



総会の「ご案内」

平成11年度

20世紀ラスト一年の総会です

関東浪速工業会

今年度の総会を左記の通り開催致しますので、ご多忙中の方
と思いますが、万障お繰り合わせの上ぜひご集集ください。

●日時 11月22日(金) 17時45分〜20時

●場所 (市ヶ谷会館) グランドヒル市ヶ谷 瑞西の間

TEL: 3268-0111

新宿区市谷本村町4-1

JR線(各停)

地下鉄 有楽町線

地下鉄 南北線

都営地下鉄 新宿線

各市ヶ谷駅から徒歩3分

●親睦会費(七〇〇〇円(女性会員及び、同伴者は五〇〇〇円))

●昔なつかしのスライド会などを企画中です。

●同封の返信はがきに出欠をご記入の上必ず投函して下さい。

皆様お誘いの上多数ご参加お待ちしております!!

テーマコーナー

今回のMニュースには健康をテーマとした
原稿を頂きました。ご紹介します。

私の健康法

1

(M48)溝口 清文

猫の額ほどの畑を、毎週日曜

日、家内と一緒に耕すのが一番
です。私の仕事は営業でアメリ

カと日本国内すべてにお客様
があり、月曜から土曜日まで忙

しい日が続きます。夏の暑い畑
で体中の汗を出しながら草取

りをし、トマト、なす、きゅうり、
モロヘイヤを収穫し食べるの

が楽しみです。ストレス解消になっ
ています。これから里芋、だい

こん、人参の季節になるなア!



私の健康法

2

(M42)前田 範行

数年前から早起きは三文の

徳を続けています。平日は六時

前に起床、近くの柳瀬川の土手

沿を三十分程ウォーキング、うっ

すら汗をかき食欲が出る頃朝

私の健康法

3

(A27)清井 英治

先日、関東青葉会の納涼懇親

会に参加し、会社内の上司と部

下の関係ではない、何か別の共

通の目的をもった不思議な会

で楽しく、あつという間の屋形

船での二時間でした。

こんな楽しい会に参加するの

も私の健康法の一つだと考え

ます。

当然、話題は共通の建築の話は

勿論のこと、ファッションから

ゲイジツの話まで、だが落ち着

く先は、紅顔の美少年時代の都

工での話です。

ここからは本題の

長尾先生と「鐵物」の話です

その折、会長の森さんより、故

長尾先生の話が出て、先生は常

に「金物という字は、正しくは

鐵物と書くのだ」

と言っておられたと語られ、私

も遠い昔あゝそんなことを教

食をとりま。舞浜の現場まで

一時間半かかりますがラッシュ

時を避けてゆつたり通勤を心

掛けています。八時半に仕事を

始め午前中に力を注ぎます。

残業で遅くなっても最低

六時間は寝ます。

えてもらったなアと思い出し

ました。

そして翌日、小江戸・川越の街

並一番街にある一軒の蔵造

りの小屋根に「〇〇鐵物店」と

書いてある大きな看板を見つ

けて、うれしくなりました。

「鐵物」→「金物」とは、一言で

いえば金属製の器具のこと

です。鐵用の金具や、鉄砲、鍛冶

ものの鐵から名稱が由来し、

一般には日本語で「かね」とは

金属一般のこと、そして中

国からそれをいい分けてい

漢字が伝わり「金」は「かね」、

「銀」は「しろかね」、「銅」は「あ

かがね」そして「鐵」は「くろが

ね」というようになったよう

で、色で区別しているところが面

白いです。

「鐵」は中国最古の字体では

「鉄」であり、秦・漢以降は「鐵

」が普通で、右側は音符であると

同時に大きなほこで、その材

料としてのくろがねの意でも

あつたようです。

それからメッキ技術が開発さ

れて「光りもの」が多くなり、

本来素地のまゝの鐵ものが少

なくなり真鍮や、クロム等

でメッキされた製品が出だ

した為明治後期頃より、「金物」

と書き方が替わつたようです。

漢字の「鐵」の一字が、故長尾

先生の言葉を思いおこさせ、

初心に帰つた気持ちで、何か

新鮮な風が心の中を通り過ぎ、
初秋風と共に、心温まる一日
でした。

鐵

大先輩の健康

満百歳の大先輩を讀る

(E13)笹本 克己

我が関東浪速工業会に満百歳

を越えられた大先輩が

ご健在です。

大正4年 応用科学科卒

重松 武雄氏 その方です。

重松大先輩は77才まで同和鋳

業株式会社にお勤めになられ

た由、そして昨春秋

11月7日満百歳 を迎えられ

て今年の元旦には「有難や百寿

迎えし今日の春」と句を添えて、

ご自宅でくつろがれるお写真

入りの年賀状を頂き感激しま

した。

大先輩のお便りによれば、昭

和31年11月に目白の梅山荘で、お

江戸浪速工業会として40名も

の多数が集まり戦後初の会合

が盛大に催され、その際の寄せ

書きのコピーを送っていただ

きました、その中には今は亡

き錚々たる大先輩のお名前も

数多く見られ感慨深いものが

あります。



祝百寿

重松大先輩

速工業会の誇りと思いたい
とあります。

前頁より
その時から重松大先輩は会長として円満なご人格で、以後22年間に及ぶ長期に亘り会のためご尽力いただき昭和53年5月浜松町の貿易センタービルでの総会で第2代山本恵造様に引き継がれました。その間、当時若輩だった私や同世代の者が可愛がっていた思い出いろいろなことが思い出されます。その私も今や80才の峠を越す身となりましたが、往事を知る親しい会員有志でも大先輩を敬愛御祝いの訪問を実現したいと考えていますが、私は未だ細々と現役の身で毎日出勤してはいますが、年齢のせいで気軽にとび歩く身でなくなり亦親しい会員も大なり小なり故障を持つ年齢になってしまつて思うように足並みが揃わず、チリチリし乍ら大先輩にこそ無沙汰申し訳なく思っています。(往事を思い出すことの出来る同世代の方々で同感の方、声をかけて下さいませんか。)

に読んで下さつてお元氣な重松大先輩に改めて敬意を表し、益々の「長寿をお祈りし、我が関東浪速工業会の誇りと思いたい」とあります。

お知らせ
担当 A西口

桂 米左の会 二案内
大阪で活躍中の落語家、桂米左さん(建築科59年卒、本木村 佳さん)が今年も東京で独演会を行います。昨年は大阪からも浪速工業会の有志の方々がはるばる応援にいられていました。関東の我々もできる限りの応援したいものです。

下記の予定で公演が行われますので、落語に興味をお持ちのかた、応援に行つてやろうと言つていただければ是非ご出席ください。

チケットご希望の方は下記世話役まで現金二〇〇〇円を添えてお申し込みください。チケットは米左さんから購入のうえ郵送致します。



第三回 桂米左の会
日時・平成11年11月21日(日)
午後1時30分開演
場所・お江戸日本橋亭
TEL 03・3245・1278
(銀座線三越前駅、JR新日本橋駅 歩2分)
前売券 2000円 当日券 2500円
世話役・A47年卒 西口 勝臣
〒 273・0045 船橋市山手2・6・2・108
TEL 047・433・3679

報告1

今年の一泊懇親会
11・4・9 (於て箱根湯本)

毎年、年が明けてから春先に前年の幹事科と新幹事科の幹事が主になつて引継ぎ懇親会を催して来ましたが、この数年は総会返信はがきのアンケートに基づいて一泊懇親会に感心を持たれる方々に依つてご案内して恒例行事の一つとして実施しています。

基本方針としては
一、会費(交通費)を安くすること
(全額各自負担)
二、金曜出勤の方の都合も考慮して、金曜夕方から短時間で行ける一泊旅行とすること
二点を重視して場所を決めて来ましたが、今年の参加者(敬称略)は次の人々です
M・18小川、26上田、28橋本、34石川

担当事務局 E笹本

- A・13鹿山、15松原、28岡田、酒井、37森、57信原、
- E・13笹本、16戸部、20真鍋、29岩崎、29平松、31笹治、36馬江、石垣、
- C・9西谷、18太田、秋月、20櫻本、計22名でした。

◆行先 箱根湯本パークス吉野
◆会費 一万五千元(税、飲物含む)
交通費は各自負担
◆精算の結果二七八円余り、このお金は当会の一般会計に寄付しました。今年も幹事科、建築科にて当日の司会の面倒を見ていただき、夕方三々五々現地に集合し露天風呂で日頃の疲れを癒し、宴会では会のことを真剣に論じ、亦昔の学校時代の思い出話など談論風発その上カラオケも入り夜の更けるまで和気あいあいの一夜を過ごしました。翌朝は自由解散とし有志数名は湯本駅近くに出来たオモチヤ博士北原照久博物館を見て昔を懐かしがったり、また好天を利用してのバスツアーで芦ノ湖から御殿場へのコースを楽しんだりして帰京しました。

報告2

担当 A田辺
ハトバス観光ツアー
★★柴又と都電の旅★

今年度関東浪速工業会の親睦会7月11日(土)朝10時集合、東京駅丸の内発、所要時間約6時間半のハトバスツアーを実施しました。

参加者は12名
(同伴女性、子供各1名含)
バスコースは、寅さん記念館→柴又「川甚」昼食→柴又帝釈天→都電(祝ノ原)庚申塚→奥町とけぬき地蔵→東京駅解散で、久ぶりの東京下町散策の楽しい1日を過ごす事ができました。

報告3

担当 A西口
納涼懇親会
(建築科より報告)

今年度の関東浪速工業会の目標として「各科毎の、活性化を計る」の一環として建築科主催による懇親会を実施しました。

9月11日(土)、夕方5時、浜松町より乗船し東京湾を、貸切屋形船で3時間程度(天ぷら+飲み放題)、の船に揺られて一杯ツアーを実施しました。参加者17名でしたが、船に揺られてお酒に酔つてわきあいあい、皆さん大変楽しい時間を過ごしたとの感想を頂きました。準備した我々担当者も喜んでおります。



★今年度は案内状56名でした。このように一泊懇親会は今後も毎春返つていきます。アンケートはがきにお返事をいただき、多数の方々参加を得て年間の有意義な行事の一つに行きたいものです。



●お詫び●前号Mニュースにおいて、投稿者名の脱落がありました。大変失礼致しました。訂正とともにお詫び申し上げます。
「私の海外駐在記」の投稿者名脱落 A 38岩井浩一
「鳥の栗鼠の投稿者名末尾一字脱落 小川 玉泉(泉)脱落

★今回のMニュースはテーマコーナーを設けました。楽しい原稿が集まり我々編集担当者側も楽しませて頂きました。今後もいろいろなテーマコーナーが発展してゆくことを期待します。
★紙面の都合上、接続詞等を文章の内容が変わらない限度で変更や省略をさせてもっている部分があります。ご了承ください。 編集担当者 A岡田

担当 A西口